

I G S   N E W S   抄 訳

VOL. 9, NO. 2   JUL.   1993

前田工織備   大倉史郎

第5回シンガポール総会(p1-2) 論文概要の提出期限は8月30日まで延長。論文の受理と提出要領については11月に各執筆者あて連絡されることになっている。エロージョン防止、補強土、道路と鉄道、排水濾過、ダム、廃棄物処分場など10の分野に分けられている。会議は1994年9月5～9日、ウェスティンホテル4階のラッフルズシティコンベンションセンターで開催される。展示会も同じフロアで1300㎡のスペースでこの種の展示会としては東半球最大の規模となる予定である。参加者は同じホテルに滞在することが可能で非常に便利である。会員には今までに論文概要の提出についての案内が、又法人会員には展示会の出展案内が送付済であるが問い合わせ等は下記まで。

Conference Secretariat

5th Int'l Conference on Geotextiles, Geomembranes and Related Products (5th IGC)  
Thompson Road, P.O. Box 0177, Singapore 9157

Attn: Mr. R.S. Douglas      Tel: (65) 3535511      Fax: (65) 3532424

Geosynthetics '93(p2-3) 第5回NAGS北アメリカジオシンセティックス大会が3月30日～4月1日1418人の登録者と99の展示社が参加しバンクーバーで開催、24のテクニカルセッションとひとつのポスターセッションで120の論文が発表された。同時にNAGSの総会で役員を選出が行われ、又“規制と現実”をテーマにして一般聴衆約400人参加の討論会も催され活発な議論がかわされた。

第2回マーサーレクチャー(p3) Dr. J-P. Gourcにより“ジオシンセティックスと環境”をテーマに実施する。アジアでは1994年1月9日ニューデリーで行われるがアメリカ及び欧州でのスケジュールは未定。

Geosynthetics '93(p4) 前出NAGS総会で受賞した論文のタイトルと研究者の紹介。環境、研究開発、現場施工、土質工学の4部門から1編ずつ選ばれ賞金は各1万ドル。

Geosynthetics '93の議事録(p4) 1606ページで3巻に分かれ、8分野に分類した120の論文を収録、IFA Iから出版。価格は1セット85USドル、送料70ドル。外にMQC/MQA (manufacturing quality control/assurance) and CQC/CQA (construction quality control/assurance) of Geosynthetics も同じくIFA Iから入手可能となっている。これは価格75USドル。

Industrial Fabrics Association International

345 Cedar Street, Suite 800, St. Paul, MN55101 USA

Tel: (612) 222-2508      Fax: (612) 222-8215

CIGSI 報告(p5) IGSのインド支部が最近、インド国際ジオテキスタイル学会として法的に登録された。目的や活動計画が紹介されている。アドレス等は次の通り。

Committee for International Geotextile Society(India)-CIGSI

c/o Central Board of Irrigation and Power

Plot No.4, Institutional Area

Malcha Marg, Chanakyapuri, New Delhi-110021, India

Tel:011-3015984

Fax:011-3016347

第3回ドイツ学会(p6) 1993年3月15～16日、ドイツ土質基礎学会のジオシンセティックス部会として220名余りの参加を得てミュンヘン大学で開催された。

濾過-5編、ライニングシステム-6編、補強-10編、その他-4編の発表があった。

又、1994年1月1日をもってIGSドイツ支部を結成することが正式に決定された。

会員の消息(p6) Dr.P.Rankilorがボルトンインスティテュートの客員教授に就任。

ASTMコミッティD35(p6-7) 同コミッティは活動開始してから15年余になる。最初はD13繊維の一部としてスタートしたが、1984年にジオシンセティックスとして独立した。この間に製品の種類や用途が増加し多様化している。この為サブコミッティを設けたり他のコミッティとの連繫作業も必要となってきた。使用期間が長くなっているため耐用性を見直ししなければならない。又、諸外国のスタンダードと国際的に連絡をとり合うことも必要である。この様に業務の内容が複雑化しているため従来1年間に4件のペースで新しいスタンダードがアプルーブされたものがこれからは3件程度に減少すると思われる。ジオシンセティックスに関するASTMの第3改訂版が既に入手可能になっている。アプルーブ済の29件の番号とタイトルが紹介されている。

ジオシンセティックス研究所-GRIについて(p9-10) ドレクセル大学での約10年間に及ぶジオシンセティックス研究の後に1986年同大学内に設立された。規模は比較的小さく、運営資金は財団及び政府、公共機関からの研究費、セミナーや出版物の収入でまかなわれている。研究内容としては以前は土中で使用される高分子化合物が主体であったが、現在はジオシンセティックス全般におよんでいる。それらの材料の物性評価や耐久性試験、新製品の評価、ASTMがきまるまでの暫定テスト方法の提案、専門家の教育セミナー、大学院コースなどが主な活動内容である。

イタリー支部総会(p10) 5月12日に開催、理事会メンバーの選任方法などを決定。

法人会員会社紹介(p11-13) 今回は次の3社

・大和工業㈱

海洋土木、港湾工事を得意とする。ヴァーチカルドレインに使用するプラスチック材料“ジオドレン”の紹介あり。

・三菱油化産資㈱

各種産業資材のメーカー。土木用としてはテンサー、ゴビマット、マイフェンス。

・前田工繊㈱

ジオシンセティックス専門メーカー。エンドレンから始まってアデム、土木シート、サンドフ、モノドレンなど。

GEOSYNTHETICS '95への論文募集(p13) 第5回北米ジオシンセティックス会議(1995年3月21~23日)への論文募集。概要提出期限は本年12月1日、受理の通知は1994年2月15日、論文本体の提出は1994年5月30日までとなっている。

北米ジオシンセティックススペーススタディ(p14) 引き続き投稿を募集中。特に学会などで既に発表済のものを合成したような内容のものがのぞましい。締切は本年12月31日、採否は来年早々に各投稿者へ通知される。

会の名称と用語、定義について(p15) Dr. Koenerからの提案。

①会の新しい名称はInternational Geosynthetics Societyを支持する。

②各製品グループの定義に“…used in geotechnical and civil engineering applications”とあるのを“…used in environmental, geotechnical, hydraulic and transportation applications”とするのがのぞましい。

用語と定義について(p15) Mr. Rimoldiらイタリーグループからの意見。

上記Dr. Kornerの提案に賛成だがgeotechnicalを真っ先にもって来る。即ち“…used in environmental, geotechnical…”を“…used in geotechnical, environmental…”とする。他に押し出し成型ジオグリッド及びジオコンポジットの定義の提案、ジオメンブレン、ジオメンブレン関連製品、ジオネット、ジオセルについての定義の明確化の必要性、又、IGSのサブタイトルにある“associated technologies”についてIGSの将来の発展を考慮に入れて慎重で正確な定義を求める意見が述べられている。

Geotextiles & Geomembranes: IGS公式誌(p16~17) 1993年は8回発行。IGSメンバーは通常の40%引き£162で購読可能。Vol.12 No.1~5 1993の目次が紹介されている。

コンピューターソフトウェア(p17) Geotextiles & GeomembranesのVol.12 No.5がコンピューターソフトウェアの特集号となっている。尚、引き続き会員からの情報提供がもとめられている。連絡先はDr.R.J.Bathurst又はProf.J.M.Rigo

予定されている国際会議(p19)

- ・13th International Conference on Soil Mechanics and Foundation Engineering  
New Delhi, India, 4-11 January 1994
- ・5th IGS Conference, Singapore, 5-9 September 1994